DIARIO No. 25012 S. Paulo 26 de JUNHO de 1941　NOTI　IL　Redacção e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa, H

爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七ー四六七〇
購讀料（一ケ年 六十軒 半ケ年 三十軒）

ミランドポリス
Snr. H. Koda
光田秀也殿
第一アリアンサ
第三區

珈琲	サントス四號 十キロ	二八、二〇〇
	リオ七號	二一、一〇〇
爲替	對日	四、六〇〇
	郵便送金	五、五七〇
	對米	一九、七一〇
	對英	七九、八〇〇

獨の作戰意外に進捗
ソ聯制覇一ケ月以内か
中部戰線で六萬五千が捕虜

（東京廿五日發）獨逸はソ聯と開戰以來、作戰の必要から局部的戰況並に戰果の發表を避けてゐたが、その後、戰爭は豫想以上に進捗し、大體一ケ月で對ソ戰終了が確實となつたので、獨逸軍司令部では、廿四日夕刻までの戰況並に戰果について次の如く發表した

一、ヒットラー總統はゲーリング空相以下幕僚を從へて廿四日本營を前線に移し、大作戰を自ら揮する事になつた

來我空軍の活躍目間に擊破せる二千四百機に上り、敵第一線機の三分の一を擊破、制空權を完全に手中におさめた、

一、伯林は廿四日に至り、特別空襲警戒を解除せり

擊墜ソ聯機「二千四百」
一軍團は殲滅

一、リトアニア戰線では同方面守備の、敵第一軍團を殲滅

一、中部戰線は大混亂に陷り六万五千の捕虜を得たり

一、モスクワ攻略を目指した南部戰線ウクライナ方面攻略部隊の活躍最も目覺しく、三百九十キロを進擊せり

一、コブノ南方百三十キロ、及び東南九十六キロの地點にて大激戰展開中

因に獨軍が主力を集結してゐるウクライナ地方は、今次獨ソ戰の死活を握る重要地點である

面積約四十四万平方キロ（我本州の二倍）有名な黑土地帶で、世界の穀倉と謂れ、人口百万の内八割四分が農民で、穀類の本場である、又南部にはオデッサ、セバストポール等の軍港あり、ソ聯にとつては國防の第一線であり、政治經濟上の

米のソ聯援助は聲だけ

【東京廿五日發】ルーズベルト大統領は廿四日、記者團との會見席上

一、ソ聯の在米資金凍結を解除する

一、英と同一歩調を以てソ聯を援助する

と、對ソ援助を表明した、これに對し某消息通は米のソ聯援助は聲援だけで、效果ある援助は出來ないと、次の如く語つた、即ちルーズベルト大統領の表明は前日行はれたウエルズ次官の聲明を裏書したに過ぎない、即ち米國は自國の國防と援英で手一杯で、ソ聯援助は不可能だ、又假に武器を送る事が出來るとしても地理的に見て困難な問題だ、要するに米は獨逸をやつつけたいが、聲援だけで效果ある援助は出來ない、と云ふ事だ

蘭印總督官邸

日・蘭印通商協定成立か

【バタヴイア廿四日發】（UP電）當地消息筋では、獨軍のソ聯攻擊に依り、ラン印から輸出される原料品が日本、ソ聯の仲介でドイツに送られる懸念が一度にけし飛んだから、日・ラン印間に〝成文化せぬ通商協定〟が成立するだらうと見られてゐる

獨ソ開戰と世界の動き

米の參戰は遲延
全歐、ソ聯打倒に奮起

【東京廿五日發】獨ソ開戰に伴ふ世界各國の動き次の如し

英國 獨ソ開戰といふ期待せぬ大きな拾ひ物をした英國は俄然氣を良くし、廿三日午後開戰以來初の大編隊を以て佛領の獨軍基地を空襲した、一方軍事經濟使節をモスクワに派遣、獨ソ開戰期間中軍事經濟相互援助をすると積極的援助條約を締結、これはポーランド、ユーゴーなどに與へたと同じ意味の援助で、英國一流の掛聲ばかりと見られてゐる

米國 米國の態度は注視の的となつてゐるが、獨ソ開戰に依つて米國の參戰が寧ろ遲らされたと見る向きが多い、茲に注目すべきは政府當路者は〝米國民はイデオロギーの混亂に陷つてはならない〟と警告を發してゐるのに對し、國民は密かに獨の勝利を信じ、又これを期待してゐる事である

歐洲諸國 獨ソ開戰に依つて全歐洲は反共十字軍の性格を帶び、一致團結して人類の敵ソ聯を討つべしと起ち上つた事である

獨軍五つの進擊路猛進

【ベルリン廿四日】（UP電）ソ聯領深く進入した開戰第三日目に於る獨軍の攻擊は五つの戰線に分れてゐる、獨官邊筋の情報に依れば、或戰線にかては獨軍は既に驚異的進擊を終つたとも謂れ、作戰は豫定の如く順調に進捗中である、今やソ聯軍との最後の決戰に近づいてゐるが、必ずや激戰が展開されるだらうと消息通は觀測してゐる、當地に達した情報に依れば、獨軍は左の五つの進擊路を有してゐると

一、東プロシヤ經由リトアニアへ

二、グロドノ市近傍スワルキ地帶最南からの進擊路

三、ブグ、エンテ、オストロブ河畔にブレスト・リトヴスキーを横斷する進擊路

四、ブレスト・リトヴスキー要塞向け進擊路

五、ベッサラビヤ北部、東部からルーマニア、ソ聯國境のラエクスへ

今の處フインランド軍の攻擊に就ては何等の情報もない

ソ領三進擊路に
早くも獨軍大戰果

【ハンガリー（ソ聯國境）廿四日發】（HT電）獨ソ開戰後四十八時間內に於て、ソ聯領內の獨軍三進擊路は早くも赫々たる戰果を收めた

第一のガウナスを目指した進擊路では、ソ聯軍の抵抗も相當であり、屢々反擊を繰返した

第二の進擊路では、獨軍は早くもブレスト、リトヴスキーを突破、ミンスキ市に迫つてゐる

最後に第三の進擊路は、北にピンスク泥濘地を控へ、他方ルヴオフ西北百キロのプロデイに通じ、又プロデイ北方百キロのヴラヂミルヴオリンスキーに通ずる地點で、最後の攻擊を敢行、目下包圍網を形成中である、ルーマニア、フインランド軍の戰果に關しては双方小競合ひの程度を出でない

獨ソに對し
日本は誓約嚴守

【東京廿四日】（UP電）獨ソ開戰が生んだ新事態への對應決定すべく、本日閣議が開かれたが政府スポークスマンは日本は獨ソ兩國に對する誓約と義務を履行するであらうと聲明した、閣議終了後、近衞首相は宮中に參內、陛下に委曲奏上申上げた、インデルリ伊太利、スメタニン・ソ聯兩國大使は夫々松岡外相を訪問、今回の獨ソ戰に就き懇談を遂げる處あり、內閣情報局の石井氏は

日本は獨ソ戰仲裁者の役をとるだらう

と云ふのは單なる風說に過ぎぬ旨、言明したが、更に今の處日本の政策に就き詳細は發表出來ぬが、近く正式聲明が行はれるであらうと附加へた、消息筋では日本は獨ソ戰爭不介入の立場を堅持するだらうと見てゐる

獨の占領地域管理
ブルガリアが代行せん

【ベルリン二十四日同盟】ブルガリア政府は獨ソ開戰後、ソ聯に於る獨逸の占領地を代行管理する事になり、廿二日この旨發表した、右は獨政府の希望に基いて行はれたものでソ聯との國交斷絕が傳へられたブルガリアは、獨逸の了解の下に今後少くとも當分はソ聯と正常の外交關係を維持するものと觀られる、尚駐獨ソ聯大使館員及びタス通信特派員等は全部一ケ處に收容されて獨逸の保護を得てゐるが、近くブルガリア官憲はソ聯と交渉して解放することゝならう

蘭印武力制壓未し

【上海廿四日】（UP電）日本大使館スポークスマンは日本は會議決裂に依り、既に芳澤代表の引揚が決定してゐるが、蘭ラン印當局との折衝を續行するであらうと發表した、當市ではこの聲明が日本の不退轉の決意を示すものと解してゐるが、ラン印からの日本向け原料品がロシアを經由、獨逸へ輸出される懸念がなくなつた今日に於ても、日本は會議を平和的に最後の妥結に到達せしむるため、急激な壓迫をラン印側に加へる事はあるまいと信ぜられてゐる

チエッコ スロバキヤ軍
獨軍へ參加進擊

【グラチスラネア二十四日同盟】チエコ・スロバキヤ大統領は、廿三日、スロバキヤ軍は獨軍と聯合、戰線に參加するため、ソ聯に進擊した旨發表した

獨ソ潛水艦激戰
ソ艦擊沈さる

【ベルリン廿四日】（HTM電）獨潛水艦隊はリトアニアのヴインダウ沖でソ聯潛水艦隊と激戰を交へた

【ベルリン廿四日】（HTM電）東バルチック海で獨潛水艦は少時間の戰鬪のゝち一ソ聯潛水艦を擊沈した

◇　◇　◇

ソ聯黑海艦隊オデッサを逃走
獨の猛爆に居堪らず

【アンカラ二十四日同盟】オデッサ軍港に集結するソ聯黑海艦隊は二十二、三日に亘る獨空軍の猛爆擊に耐へ兼ね同港を退出したが、內四十隻は擊沈されたと

米、對ソ資金凍結撤廢
クレヂット四千萬弗解放

【ワシントン二十四日同盟】アメリカ政府は、ソ聯に對し可能なるあらゆる援助を强化する旨、聲明した

【ワシントン二十四日同盟】米政府は對ソ政策上の第一着手として、ソ聯の在米資金凍結管理を撤廢することとなつた旨、二十四日發表した

【華府廿四日】（UP電）米政府は、現在ドイツと交戰中のソ聯に對し好意を示すため、四千万ドルに上る凍結クレヂットを解放した

東部戰線
獨軍堡壘突破

【ベルリン廿四日】（TO電）獨軍は大激戰の後、東部地方、中央前線のソ聯軍の堡壘線を突破した

伊 在住米人の出國禁止

【ローマ廿四日】（TO電）イタリー政府は、同國在住米人が、官憲の許可なくして出國する事を嚴禁した、伊國政府の右措置は、米國在住イタリー人の出國禁止に對する報復手段であり、その占領地域にも及ぼされるものである

獨ソ戰ふも
帝國の方針は不動
松岡外相・自邸で語る

【東京廿四日發】（HTM電）本日早朝、松岡外相は自邸に詰めかけた記者團の質問に對し

今次獨ソ戰に依り、日本の方針は聊かも動搖するものではない

との一言を答へたのみで、直ちに庭へ朝の散歩に立出たが

松岡さんは歩き乍ら

重大な問題に就て熟慮を要する時、僕は何時もこの庭園を歩くが、自分の獨り言にしばしば驚かされることがあるよ

と語つてゐる際、突然門前に自動車が停つた、記者連は重大緊急問題解決のため外務省へお出でゝせうと質問の矢を向けたが、松岡さんは笑ひながら

多分外務省では外務大臣を置かぬやうになるかも知れぬよ、私自身もまた不必要なものと思つてゐるよ

と答へ、記者連に茶を勸めたが、後は沈默して語らなかつた、松岡さんはこの日記者團との會見前、オットー獨大使と二時間に亘り會談、次に大政翼贊會副會長末次信正大將と會見してゐる

◇　◇　◇

蘭印在住 獨婦女子引取に
郵船淺間丸を急派

【東京二十五日同盟】ドイツ側の依賴に依り、在ラン印ドイツ人婦女子引取りの爲、郵船淺間丸をバタビヤに派遣することになつた、同船は七月二日同地到着の豫定で、ドイツ人婦女子の總數は約四百名

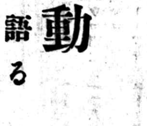
ソ聯軍タンク
百八十台破壞さる

【ベルリン廿四日】DNB通信に依れば、東部戰線の獨軍は激戰の後、ソ聯領深く突入した、ソ聯軍の破壞されたタンクは百八十台に及ぶと謂れるが、何時、何處で斯る激戰が行はれたか報ぜられない

英ソ軍事協約成らん
英使節團モスクワ訪問

【ロンドン廿四日】（R電）訪ソ英國軍事經濟使節團は近く出發の筈であるが、英ソ軍事協定の成立は今や確實なものと觀測されてゐる

クリップス駐ソ英大使は、目下ロンドンにかて新情勢の檢討に努めてゐるが、近々モスクワへ歸任する旨發表した



伊外相
ソ大使へ通達

【ローマ二十三日同盟】チアノ外相は二十三日早朝ゴレルキン・ソ聯大使を招致しイタリアは二十二日午前五時半を期し、ソ聯と戰爭狀態に入つた旨、通告した

獨機モスクワ初空襲
高射砲一齊火蓋切る

【モスクワ廿五日】（H電）モスクワ市では本日早曉午前三時、第一回の空襲警報が發せられ、高射砲は高度の上空にある獨機向け一齊火蓋を切つた、同市內は一時間十五分に亘り燈火管制が布かれた

赤空軍
ヘルシンキ爆擊

【ヘルシンキ二十五日同盟】赤空軍編隊は二十五日午前七時より、ヘルシンキを空襲した、戰況其他詳細不明

ソ軍退却に當り
舊國境の堡壘破壞

【ツーリッヒ二十四日】（R電）伯林よりの情報によればソ聯軍は退却に當り、舊國境近く構築された永久的堡壘を破壞した、獨軍はソ聯軍に依り、その通路を破壞されたが目下軍需品、食料、燃料、飲料、電話機、電信機等を運搬中である

米、外人入國を完全統制
西半球市民は除外

新法令　七月一日實施

【ワシントン二十五日同盟】國務省は二十五日外國人の米國入國を完全に統制する新法令を發表した、同法令は七月一日以降效力を發生するもので、外國人にして米國に入國を希望するものは查證の申請が現地領事館の許可を經る以前に、國務省の承認を得るを必要とする旨を規定したものである、但し西半球の諸市民外國政府官吏職員はこの規定より除外されてゐる

クロアチア國
樞軸へ協力聲明

【ザグレブ二十四日同盟】パベリッテ首席は二十四日、クロアチアの態度に就き左の如く言明した

クロアチア國は三國條約より生ずる一切の義務を欣然として負ふであらう、余は我等共同の敵に對する獨逸並に同盟諸國の神速なる處理を祈つて止まない

獨落下傘隊降下

【モスクワ廿四日】（R電）目下獨軍落下傘小部隊が、ソ聯軍後方に降下中であると當市のラジオは報じた

ソ聯驅逐艦
獨水雷で爆沈

【ベルリン廿四日】（HTM電）一ソ聯驅逐艦は、東バルチック海で獨海軍の電機仕掛け水雷に接觸爆沈した

ハンガリー
ソ聯と國交斷絕

【ブダペスト二十四日同盟】ハンガリーはソ聯との國交關係を斷絕する旨發表した

スエーデン國王
急遽國會召集

【ストックホルム廿四日同盟】スエーデン國王グスタフ五世は、廿三日午前急遽離宮よりストックホルムに歸還、緊急閣議を召集して獨ソ開戰を續るスエーデン今後の方針につき重要協議を遂げた

二人草三郎
（無斷上映禁）
小堀雄
繪 小川倚霞

（百四十二）

くろ髮（十六）

涙に濡れた、痛々しい小夜の姿を見て――草三郎が、はつと驚きを新らたにしたのも無理はない。

あの夜白藏が、揩日峠で狼の危難から小夜を救つた時に感じたと同じ驚きで、草三郎も、名のみ聞いてその人の姿を初めて眼のあたり見る今、はつと心を衝き上げられるやうな思ひをしたのだつた

……自分を思ひ詰めてゐた揚句、あゝして非業に死んで行つた伊勢屋の娘のお八重……その幻かと見紛ふばかりのこの小夜は、矢張り自分ゆゑに、かうしてくろ髮を落して女としての命を斷つたと同じ姿になつてゐる……

懷に秘めた、お君のくろ髮――その人の、あの痛ましい最期といひ、この人の、くろ髮といひ……

太田原屋敷で、我れと斬り落とした二つのくろ髮の事。

懷の二つのくろ髮の事。

あれを思ひ、これを思ふ、草三郎の心が、暫し、現實を離れて、何か夢現の世界へでも漂ふやうな奇異な思ひに閉されたのも無理のない事であつたが――口のうちに念佛を唱へながら、ぢつとお君の首を見てゐた小夜が、堪まり兼てか、わつとその場へ泣き伏た、その聲に草三郎の心も亦現實へ引戻された。

で、現實の世界では、弱くならうとする草三郎の心を、領內百姓の困窮といふ苛酷な事實が、强くなれよと鞭打つ、この、お君の打ち首に對しても――

「それで、誠にこれは些少ではございますが――」

と、その時もう一つの紙包みを押し進めながら、信代が言つた。

「ほんの私の寸志、佛樣への手向けでございます、どうぞ御家內樣のお石塔料の足しにして下さるやう――それから今度のこの事は、娘も斯うして髮まで落とした事ではございますし、貴方を男と見かけてお願ひ申しますが、內聞の御沙汰になすつて下されば有難う存じます」

「へえ、これを家內の石塔料として下さると仰有るのですか、折角ではございますがこれは頂戴出來ません」

草三郎は、心を鬼にする思ひで、嚴しくさう言つた。

「そんな事を仰有らずに――」

「いゝや、お孃さんの髮だけは確に家內の位牌に手向けますが、此はお返し致します。御新造樣へ、貴方は立派なよいお方ですが、女の事で此の度の騷ぎの事は御存じござんすまいが、百姓衆の困窮と申すものは一通りではございませんぜ、この一件を此方樣でお取下さるまでは、內聞の沙汰にも何んにも、私はこの首を引提て城中へ直訴しようかとさへ思つてゐるくらゐでござんす」

「そ、そんな事になつては……これさ、直之進、お前もお願ひをしておくれ、その事に就きましては、夫直右衛門にも乾と申聞け直之進共々命をかけて殿樣へお願ひしても、乾度年貢減納の事は願ひ通りに致します」と、言ふ尾について直之進も、

「その事に就いては貴方との間にいつぞやの約束もあり父も一方ならず心を惱めては居られるもの、太田原と申す上席の方もあり心ならずも今日まで遷延致しましたが、今度と申す今度は父と共々殿へ歎願命に換へても必ずお取上げに相成るやうに取計らひまする」

「それぢやア、乾度、言葉を反古にはなさいませんね。その代り此の度の事を內聞にせよと仰有るなら、私はこの口が腐つても世間へ口外は致しませんから――」

と堅く言葉を交へて――太田原權太夫があゝなつてゐる以上、今度は聞き屆けられるであらうと、草三郎が座を立つた時だつた。ツウと奧から出た人影が、長押の槍を取り下すやいきなり鞘を拂つて――廊緣へ歩み出た草三郎目がけて、突き付けて來た。

輝く大使命果し
汪主席一行離京
二十五日盛大見送裡東京驛出發

（東京二十五日同盟）中華民國政府主席汪精衛氏は滯京八日間の日程を滯りなく終へ、今日廿五日午前九時東京驛頭から朝野盛大の見送りを受け名殘を惜しみつつ特別列車"燕"號で離京、一路歸國の途についた

大阪で官民合同歡迎會

【大阪二十五日同盟】輝く使命を果して二十五日午前離京した汪主席は、林宣傳部長、徐外交部長及び褚民誼大使以下隨員と共に午後五時特急"燕"で大阪に着いた、驛頭には青木中部軍參謀長、奥阪神海軍部長、三邊知事、坂間市長、湯川大阪商工會議所副會頭等軍官民各代表及び駐神戶領事、中華總商會々長等華僑の出迎へを受けモーニングに威儀を正した汪主席は自動車を連ねて中華學徒を初め各學校團體などの歡迎の旗波を縫つて阪神國道を一路西へ五時卅五分甲子園ホテルに入つた少憩の後、新聞通信記者團と會見、六時半再び來阪、新大阪ホテルの府市會議所共同主催の歡迎會に出席、青木中部軍參謀長、奥阪神海軍部長、知事、市長勅任官、各議長、各新聞通信社長、實業家、等各界の名士四百名出席晩餐を共にし、三邊知事の歡迎の辭に次で、主席は立つて謝辭を述べ、和かな親善風景の裡に招宴を閉じ引續き別室でも主席隨員を圍んで一同歡談した後一行は九時四十分同所發甲子園ホテルに入つた

汪主席參內
歸國御挨拶申上ぐ

【東京二十五日同盟】汪主席は二十五日離京することとなつたが二十四日、宮中に參內式部長官を通じ歸國の御挨拶を申上げ、夜はラジオ放送の後、近衛首相と第三次會見を行ひ、兩國の協力方針に就き最後的意見の交換を遂げた

汪主席

國際情勢急變に即應
戰時內閣體制を整備强化
今後も隨時閣議開く

【東京廿五日同盟】政府は二十四日の政府、統帥府連絡懇談會終了後同日午後三時より首相官邸に臨時閣議を開催、近衛首相以下各閣僚參集、松岡外相より外交上より見たる獨ソ戰を中心とする歐洲新情勢に就き報告說明し、東條陸相より軍事上より見たる獨ソ戰爭と歐洲新情勢に就き說明あつて近衛首相を中心に隔意なき意見を交換同四時散會したが、政府は急變推移する國際情勢に即應して、我戰時總力體制の急速整備に萬全を期する爲め今後も臨時閣議を開き戰時內閣體制の整備强化に資する事となつた

心兩面の力傾注
亞新秩序建設へ
汪氏離京挨拶放送

京二十五日同盟】近衛首相並びに汪院長は、汪院長離京の前夜たる二十四日午後八時、相携へてAKのマイクの前に就き、首相は"汪精衛閣下を迎へて"と題し、又院長は"友邦日本を訪れて"との題下に、別項の如く歷史的放送演說を行つた、この首相院長の演說は二十三日の近衛汪共同聲明の主旨を敷衍し、激勵するものであつて、斯ふした情勢の中にある日華兩國が責任を分擔する決意を披瀝したものである

【東京二十五日同盟】汪精衛氏―放送大意

日本から提出された東亞新秩序を建設すると云ふスローガンを聞くに及んで、中國では暗憺たる中にも始めて一路の光明を見出した、中國は速に自己の本來の面目を回復し東亞の道義的精神に基き、經濟侵略主義と共產主義とが連鎖となつて形成してゐる舊秩序を打壞し、獨立自由、共存共榮の新秩序を建設しなければならぬと自覺するに至つた、この度私が東京に參り、諸君とお會ひするのは、この自覺に立つ多數の民衆を代表し、諸君と握手し、提携せんと期したからである、こゝに於て私は又全面和平を考へざるを得ない、その眞意は唯戰爭を停止される丈のものではなく、兩國のあらゆる心力、物力を東亞新秩序建設の上に注ぐと云ふ點にある、連日近衛首相と協議の結果、共同聲明を發表したが、今後我々は必ずやこの共同宣言に基き、之が貫徹を期すべく努力する決心である

超短波

歡迎午餐會
（日本銀行で）

は、廿五日午前十時から、南京政府財政部長兼中央儲備銀行總裁周佛海の歡迎午餐會を開いた

四長官會議

廿五日午前九時、四長官會議散會後、鈴木企劃院總裁、富田書記官長は、武藤陸軍、岡海軍兩軍務局長と獨ソ戰を中心に約一時間に亘り協議した

趙大佐重慶脫出

重慶政權鐵道路部長の祕書を務めた趙大佐は、昆明からラシオを經てビルマに脫出、四ケ月に亘る苦難を突破して此の程父母のゐる廣東に歸つた、大佐は有名なバスケット・ボールの選手で、自宅で次の如く語つた

重慶部內の和平氣運は非常に強く、重慶を脫出して汪政府傘下に入りたい要人は澤山あるが、脫出が困難な爲め心ならずも止まつてる人が多い、自分は早くから汪氏の主義に共鳴、脫出の機會をねらつてた所、ビルマルート巡視の命が下つたので、それを機會に脫出を決行した次第だ

桑園を整理

本年度は八千万貫の繭生產を目標に進む事になつたが、これに對し四十万町歩の桑畑は多すぎるので桑園の整理をする事になつた

小林參事官 ハルビン着

ベルギー大使館參事官小林氏は、廿四日國際列車でハルビンに到着した

臨時閣議開かる

【東京廿五日發】政府は廿五日午後三時から首相官邸に於て臨時閣議を開催、松岡外相より獨ソ開戰とこれに關聯する新情勢について、又東條陸相より軍事上から見た獨ソ戰について夫々說明、午後四時散會した

子會を從屬
二段構成で化學統制
近く建議案決定

【東京二十五日同盟】化學工業の統制會につき商工省では、セメント、ゴム、皮革、油脂の各統制會を獨立せしめ、爾余の各製品部門一般を包括する化學統制會の下に、アンモニア、硫酸、曹達、カーバイト有機合成品、タール等の六箇の子統制會を從屬せしめる二段構成を以て臨む事となつてゐるが、民間側では統制會の中心的狙ひたる、指導者原理の透徹と云ふ點に於て右の如き二段構成に尚檢討の余地ありとし、重要產業構成團體協議會では近くこれに關する懇談會を開催し、當局への建議案を決定することゝなつた現在行はれてゐる民間側の意向は次の如し

一、化學工業の內セメント、ゴム、皮革、油脂を除いたアンモニア、硫酸、曹達、カーバイト、有機合成品、タール等についても夫れ／＼獨立の統制會を設立する

一、各部門別統制會の上部機構は統制會とせず協議會制となし各部門の有機的連繫を計る

伊・ソ兩大使
松岡外相を訪問

【東京二十五日同盟】イタリア大使は二十四日午後二時半、スメタニン・ソ聯大使は同三時半、各々外務省に松岡外相を訪問、獨ソ開戰に就き會談した

近衛首相參內

【東京二十五日同盟】近衛首相は二十五日午後四時五十四分宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ內外重要政務に關し委曲奏上、種々御下問に奉答して御前を退下、更に木戶內府と會見要談を遂げ、同五時二分宮中を退下した

"立派な日本人に"
懇々・慈父の訓へ
文相　初の國民學校視察

國民學校が誕生してから橋田文相は、都下における"皇國民の鍊成"がどんな風に行はれてゐるか、その實情を視察するため日本橋區常盤國民學校に赴いた

みなさんの元氣な顔をみて大變嬉しく思ひます、都會の子供たちは山や川や野原のそばに育つた子供よりも體が弱いといはれますが、できるだけ丈夫になるやう運動のときは運動を、遊戯のときは遊戯を一生懸命やつて下さい、しかし體が丈夫になつても頭が空では駄目ですから、よく勉強もして體も心も立派なものにならなければいけません、五年生や六年生になると夜更かしをしたくなるものですが夜更かしは體をこはすから決してしないやうにせねばなりません、みなさんは日本に生れた日本人です、立派な人間になるといふことは、即ち立派な日本人になることだといふことを、忘れずに一生懸命やつて、天皇陛下の御ために立派に働ける人間になつて下さい

國民服姿の文相は同校運動場に集まつた兒童八百四十五名を前に、お父さんのやうに訓した後、皆川東京市教育局長、谷原同學務課長らを從へ、校長星野清次郎氏の案內で「今日は」と口々に可愛らしく挨拶する幼稚園兒から順次各學年の第四時限の授業狀態を教室、屋上運動場とみて廻つた、約一時間の視察の後、文相は同校で校長及び幹部教員と食事を共にした後、午後一時から杉並區荻窪桃井第二國民學校に赴き、校長花田長次郎氏の案內で千七百六十三名の授業狀態を視察した

橋田文相

海軍關係
第三十七回論功行賞
二十六日發表さる

【東京二十五日同盟】畏き邊りでは「支那事變第三十七回論功行賞　海軍關係第十九回」の御沙汰あらせられ二十六日午前零時發表された、今回行賞の恩典に浴したものは十三年五月十三日より昨年四月二十六日までの間に主として中支揚子江流域及び南支沿岸の戰鬪で興亞の支柱として戰歿した龍崎留吉大佐以下九十七名である

五百年前に立戻り
田賦を現物で徵收
重慶苦肉の政策

【香港二十五日同盟】重慶來電によれば、田賦物徵收案は廿三日の全國財政會議第五次大會で可決された、因に中國の田賦は古來現物を以て徵收されてたが明代以後現金制に改められたもので、五百年を經た今日再び現物徵收に復活した譯である、本改正目的に就て重慶政權は民衆負擔を輕減するためと稱してゐるが、その實は法幣の大暴落による地租收入の減少を補塡し、且つ俸給生活者たる公務員の生活難を救濟せんとするものである

政府・統帥府
連絡會議開催

【東京廿五日發】廿五日午後一時から首相官邸に於て政府と統帥府との連絡會議を開催

政府側から
近衛首相、松岡外相、平沼內務、東條陸軍、及川海軍各大臣、富田書記官長、大橋外務次官、武藤陸軍、岡海軍兩軍務局長出席

統帥府側から
杉山參謀總長、永野軍令部總長、同次長が出席

獨ソ開戰後の諸情勢につき約一時間に亘り協議した

獨ソ戰に
泰は嚴正中立

【バンコック二十五日同盟】泰國政府は獨ソ開戰を重大視し、その發展を冷靜に見守つてるが、おそらく兩三日中に聲明を發表、嚴正中立を表明するものと觀られる

松岡外相
末次大將と懇談

【東京廿四日】（S電）松岡外相は、大政翼贊會副會長末次信正大將と一時間半に亘り懇談した

軟調裡の
倫敦株式市塲

【倫敦廿四日同盟】當地株式市塲は獨土友好條約締結の報前に國際情勢緊迫化の報が强く反映して軟調に寄付いたがその後稍見直した

急告！
パウリスタ延長線
ゾーナ・ダ・マツタ
ルセリヤ市街地ダツタを御買求めの方にて月賦未納の方は早速事務所又は小生方にて御整理下さる樣御通知申上ます
事務所　ルセリヤ市街地
賣出人　ジヨゼ・マノエル・メスキツタ
代理人　藤原高一

Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO JURAMENTADO
Escritorio: Praça da Sé, 6: 2.o and. sala, 24
Tel. 2-1137 - C. P. 1124
São Paulo

法律事件一切
官廳諸手續
飜譯及び人事相談
岸本法律事務所
公證飜譯人　岸本次男
聖市プラサ・ダ・セ六十二番
二階　二十四號室
郵函一一二四　電話二―一一三七

美術石版印刷
卒業證書及感謝狀、其他
萩原工業所
聖市コンセレーロ・フルタード一八九

美術石版印刷
鹽谷實
聖市タバチンゲーラ街一二六番
郵函二五七四
電話三―三九八〇

求青年
二十歳前後、身元確實な眞面目な青年雇ひ度し。通學の便を與ふ。サンパウロ市
バール御國屋
―中矢商店隣り―

求青年
年齡二十才前後の身元確實の眞面目なる稲作に從事する青年を欲す。待遇として年給一コント五百釬內外
マリリア驛サンタイリア植民地
郵函E―九七　川原德郎

求人
社宅世話係り
住込みの方
御照會はブラジル時報社
宮下まで

求人
指物大工　四、五名
至急入用
聖市リベルダーデ街九四八
電話七―七五七六
鮫島新之助

岡山齒科
聖市コンデ・ド・ピニヤール街一三五番
電話二―六〇三七

木下事務所
法律事務一般及飜譯
聖市ジョン・メンデス廣場
リベルダーデ角八階八四―八五號室
郵函一三八六

新ソバが出始めました
安くて美味しく食べられます
パストス名物干ソバ
パストス
福田製麵所
郵函一九一

眞綿
キロ　七十ミル
百瓦　八ミル
時報商事部

讓り度し
伯國專賣特許權、目下營業中の美術製造業都合により歸國の爲至急讓り度し
價格六拾コントス
（製造機具一切共）
詳細御照會は
ブラジル時報社
宮下宛
C. P. H - S. Paulo

日伯齒科醫院
Av. Rangel Pestana, 12-3.o and. Salas 304, 305, 306, 301
(Esquina do Largo da Sé)
一般齒科
レントゲン科
ジアテルミア科
口腔外科
院長　齒科醫學士　村上眞一郎
大阪齒科醫學士　林博之
Dr. S. A. Pereira
電話 [illegible]
自宅　電話 [illegible]

土地賣出し開始
△位置　サンパウロ市より一二八キロの地點、ソロカバ市へ四十五キロ
△地主　ドットール、マノエール・ヴアスネット
△交通　國道通じ居り、毎日乘合自動車往復し、三時間にして聖市より目的地に到着す
△地權　新法令に依り登記濟、絶對確實
△地價　現金一コント　年賦一コント二百釬、一コント三百釬、四回拂
△面積　三千アルケールス
△氣候　聖市と同樣健康地、清水豊富
△土質　森林地にして砂質壤土、マサツペ・プレツト、アマレーロ、サロモン、粘土
△適作　果樹の如き永年作物、バタチンニヤ、トマテ、セボーラ、アリヨ、米、棉、麻の如き特殊作物、其の他の作物。尚ほ炭、タマンコ木材等の收益あり
△特點　各ロッテ洩れなく車道へ面して居ります
尚當植民地及び植民地付のパトリモニオ・ヴイラ・ダ・ナウダーデには自動車道路、小學校、ペンソン、商店、製材所、麻工場（政府監督の下にあり）
五アルケール以上何程にても分讓す
委細は左記代理人迄　ソロカバ・ヴエンセスラウ町
總代理人　山田國三郎
事務所　聖市イルマン・シンプリシアナ街一五
都ホテル內　電話二―七四二五　西田盛
吉川守雄
又は地方代理人　宮田製材所　宮田峯太郎
ファゼンダ、サウダーデ・ピーヤ・ピーラール

接木用纖維
ラフィア
百瓦七釬
時報商事部

日本特產
野菜苗類

◇蕗（フキ）	苗	一株	二、〇〇〇
◇ラツキヨウ	同	同	一、〇〇〇
◇ニラ	同	同	一、〇〇〇
◇茗荷	同	同	二、〇〇〇
◇ウド	同	同	三、〇〇〇
◇ワサビ	同	同	二、〇〇〇
◇ミツバ	同	同	一、〇〇〇
◇芹	同	同	一、〇〇〇
◇食用百合（高砂）	同	同	二、〇〇〇
◇食用菊	同	同	二、〇〇〇
◇蓬（よもぎ）	同	同	一、〇〇〇
◇紫蘇	同	同	二、〇〇〇
◇コンニヤク	株苗	百瓦	二、〇〇〇
◇食用へチマ種	一包		二、〇〇〇

△注意―送料御加算の事
時報商事部

マラリアを傳播する蚊
アノフエレス・ガムビアエの發生防止なる

幾多の疫病が防疫に努力對策するにも拘らず、他國より侵入して參り、國家に莫大な損失を與へて居ります。此疫病中特に甚大な被害をなすものにアノフエレス・ガムビアエと稱するアフリカ產の蚊があり、農村地帶生活者の健康を狙ひ、貴い人命を奪つて居ります。

此蚊は最初一九二八年から一九三〇年間に北大河州に發見せられ、其傳播力に依り此廣大な國土の幾多の地方にマラリヤを蔓延さす樣になつたのであります。さて此蚊はダカール、ナタール間を航行する快速の船舶に依り、大洋を渡り來たものと種々の足跡から推定されて居ります。事實此二港間の航行は六十時間と少しですから、アフリカ大陸產上記蚊の來る事は容易なのであります。

アノフエレス・ガムビアエは、現在北大河州及びセアラー州で發見されます。勿論上記州では他州への傳播を防止する爲不斷に衛生事業に努力して居ります。最近の衛生報告によりますと上記州のこの恐るべきアフリカ產蚊の撲滅は近い事です。輝しい撲滅作業と新治療方則の確立によつて惹起されましたしいマラリア傳播者に衞生局者は上述蚊の發生防止警戒を常になすと同時にこの急性熱傳染病に今尚罹る人々に對し懇切なる治療をなしてをります。と同時に、豫防治療藥劑等の事に關しましては、確實、迅速、効果十分とされて居るものに新化學藥劑アテブリーナ（ATEBRINA）とプラスモキーナ（Plasmoquina）と稱する藥劑があります。此短時日に病苦を脫し、再發の憂なく治癒致します。アテブリーナに依る治療は僅か五日乃至七日間です。

マラリヤを治療する事は單に人間の義務に止らず、守るべき社會公衆衞生の一行爲でもあります。マラリヤ病患者は血球中にプラスモデイウムと稱する病菌を有し、丁度病菌貯藏所の如きものであります。アノフエレスは刺す事に依り、此等病者から健康者へ傳播さすのであります。專門家は上記北伯州罹病率六二％の此病氣を他の何病より危險視してをります着々たる衞生事業と治療法の進歩特にアテブリーナとプラスモキーナの効果で罹病數は減少して來てをります。

マラリヤ病研究の諸大家は、アテブリーナを治療期間を著減する事と再發する事がありませんから最良藥品として賞讃されてをります。

仁丹
仁丹粉齒磨奉仕
國を擧げて
経濟強化
家庭を擧げて
齒層強化
"JINTAN"
各地藥局商店に有り
森下仁丹株式會社特約店
上坂健一商店
郵函三九六三
電話三―二九二六

妻ユキヱ儀急病にて百方手を盡したる處甲斐なく去る本月七日午前五時死去翌八日マルチノポリス共同墓地へ埋葬仕候間生前辱知諸賢へ謹告仕候
追而葬儀當日は遠路態々御會葬被成下且つ多大なる御香奠に接し候段難有奉深謝候
昭和十六年六月十日

高木辰雄
長男　哲夫
長女　信子
次女　艶子
三女　文子
四女　美智
義兄　高木隆
義姉　シズヱ
友人　東野武雄
總代　常喜
江藤貞喜
區總代　園田十五郎
齋藤條郎

愈よあす！熱戰死鬪の幕開く

心身鍛錬〝美の祭典〟

體協主催 全伯少年 陸上 野球 兩大會

全伯七地方豫選區より選ばれた豆戰士が、郷黨の聲援に應へ、チームの名譽にかけて相闘ふ邦人體協主催第二回全伯少年陸上、第四回全伯少年野球大會は、愈よあすから野球を皮切りに三日間聖市に於て、至純にして豪華の絢爛大繪巻を繰展げるその競技は瞬時のゆるみなき一跳一擲、一投一打にもチームの全心魂が火花と散ると見られ、緊迫せる熱戰は日毎に高調するであらう、まことに年少の彼等とはいへ炎天に鍛へ熱砂に錬つた赤銅の體軀と不屈の闘志こそ、小國民の心身鍛錬のシンボルだ、兩大會日程は左の通りである

豪華！三日間のプログラム

場所……カ・ナカオ球場

六月二十七日（金曜日）午前八時入場式……同九時第一試合……同十一時第二試合

廿八日（土曜日）……午前九時第三試合

廿九日（日曜日）午前九時準決勝第一試合……十一時同第二試合

午後三時……優勝戰　同五時……閉會式

上

月廿八日（土曜日）午後一時開始……エスペリア倶樂部

先着部隊

アリアンサ一強豪 ビリグイ昨朝早くも着聖

殘り代表も今夕勢揃ひ

全伯少年陸上、野球共に地方豫選區より選抜された七代表のうち、地元の聖市東北代表大正軍、聖市南西代表コチア軍を除く各代表軍は、それ〲大會地聖市目指して長驅征途についたが、前年度優勝チームアリアンサ軍（野球）アラサツーバ地方代表ビリグイ軍の強豪は昨朝七時早くも着聖、各々合宿所に入つて待機してゐる、尚プルデンテ地方代表軍、バウルー地方代表軍、オウリンニヨス地方代表軍も今夕までには全部出揃ふ筈である

代表監督會議

今夕午後七時より 體協事務所で

第二回全伯少年陸上競技並びに第四回全伯少年野球兩大會の代表監督會議は今夕（廿六日）午後七時より邦人体協事務所に於て行はれる

殘り二代表決る！

バウルー地方代表　バストス軍

オウリンニヨス地方代表　オウリンニヨス軍

全伯少年野球バウルー地方豫選大會は去る二十二日、パ延長線ポンペイア球場に於て擧行されたが、優勝戰に於てバストス軍はポンペイア軍を二六對二の大差で撃破、輝く同地方代表と決定した、同優勝戰の兩軍バッテリー左の如し

バ軍—安齋、鳴原、八木

ポ軍—都田、江口

同じくオウリンニヨス地方豫選大會は去る廿二、廿三日の兩日に亘り行はれ、出場チーム—ベンデイランテス、ロンドリーナ、オウリンニヨス、カンバラ、サンタ・クルス・ド・リオ・パルドの五チームによつて熱戰が繰返へされた結果、オウリンニヨス軍が優勝、晴れの代表となつた

【東京廿五日發】日本ではオリムピック第一主義を撤廢、國内強化方針をとり、共榮圏内のスポーツ指導を確立する事になつた、此の意味で明年夏新京で開催される東亞大會には非常な期待がかけられてゐる

……○……

ドイツの逆封鎖に、英國内ではいま極度の食料飢饉を來し悲鳴を擧げてゐる、中にも珍品中の珍品になつてゐるのは玉蜀で、過般ゴルフボール位の大きさのが、驚くなかれ一個五円で賣れたといはれる、店先には鐵の鎖をかけたガラスのケースに入れられ、貼紙して曰く〝賣物にあらず〟とはまさに寳石以上

……○……

例年の如く來る八月、工業内國博覧會が開催されるが、聖市工業聯盟本部では昨日四時半からボア・ビスタ街の同本部に於て新聞記者、放送局等關係者を招待カクテル・パーテーを催したが、來る八月の開館等の打合せを行つた

……○……

聖市チエテ體育クラブでは來る廿八、九の兩日（土、日曜日）のサン・ペードロ祭に各種の競技を催すが、小野兄弟による柔道試合も行はれる筈である

……○……

米ル大統領は過般武器貸與法に署名するのに五本のペンを使つて勿體をつけたが、前海軍次官でニユージャーシー州知事に就任したエヂソン氏は、このほど同州で長年係爭中だつた勞働調停法の署名にあたり、三十本の違つたペンを使つて堂々？レコードを破つた

……○……

米國陸軍では従來のガスマスクより非常に輕く、鼻がピツタリはいるやうになつてゐる新式のものを配給した

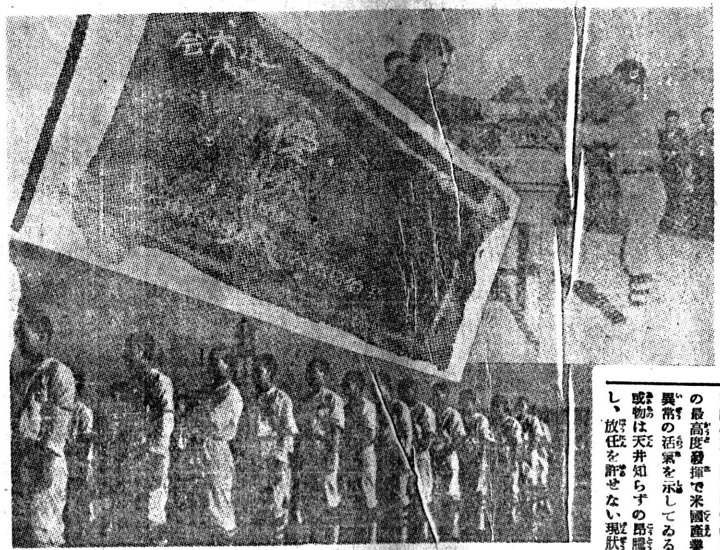
……○……

フイリツピンではこの程アメリカにならつて、モスキート・フリート（蚊艇隊）を編成することになつた、現在二隻だけだが向ふ五年間に同型快速艇卅六隻の建造が目論まれてをり、なほ海軍を有たない同國ではこれを陸軍の監督下におく

勝者に……榮あれ

思ひぞ起す一昨年の……優勝チームアリアンサ軍主將が、榮ある大旆を受ける感激の一瞬が この寫眞である

春秋めぐり來つてこゝにまた今期の大會……この感激に打震ふものは 果して何軍の健兒ぞ？



福岡縣人會聖市支部

水害義金喜捨

福岡縣海外協會聖市支部では昨年護國神社（福岡市に）建立の資金寄附として一コント五百九十五釺を母國に送つたのであるが、兩大河州に於ける水害罹災民の慘情を聞くや纏まつた金を出した後の支部の貧しい會計から取敢ず第一回分として金五十釺を寄附すべく本社に寄託して來た

ポ驛日伯青年會

義金募集運動

パ延長線ポンペイヤ驛日伯青年會では會長ドットル・ガルシヤ以下會員總動員で兩大河州水害義捐金募集運動を開始各戸を訪問して罹災者らの想像以上の慘情にある事實を説明しながら喜捨を乞ふてゐるが、日伯人共に喜んでこれに應じ、はしなくも民族を越へた同情の發露は事實上の日伯親善の花と咲いてゐる

米も物價統制か？

ヤンキーらの悲鳴

天井知らずの日用品暴騰防止へ

ワシントンよりの報によれば國防生産、對英物資輸出能力の最高度發揮で米國産業界は異常の活氣を示してゐるが、或物は天井知らずの昂騰を呈し、放任を許せない現狀にあり、政府當局は軍需品及日用品の暴騰を防止すべく對策を研究中であるが、既に上院に於ては大統領の軍需品及營運工業の原料物資の配給管理權を可決して円滑を圖ることになつた、ルーズベルト大統領自らも記者團との會見に於て價格統制案を提出すべく準備中であると發表したが、かくて米國も國際及國内情勢の進展に伴ひ徐々に經濟統制へ傾きつゝある情勢にある

五ケ月間の

聖州棉の輸出高

一億一千三百万キロ

サントス港を經て海外へ

聖市駐在員の報告に基く農務省農村經濟課の發表によれば、一月から五月までの本年度五ケ月間サントス港經由聖州棉の輸出高は113,000,000キロで、昨年同期に於ける輸出高は40,610,740キロとなつてゐるから本年は昨年よりも七千二百三十八万九千二百六十キロの增加で約一・七割五分の激增である

野球各代表〝合宿所〟

プ・プルデンテ軍—九州旅館

アリアンサ軍—アジア旅館

ビリグイ軍—熊本旅館

バストス軍—常盤旅館

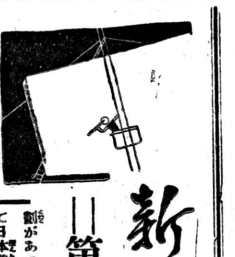
大正軍—有隣館

オウリンニヨス軍—東洋旅館

新しき土を拓く人々（64）

—第壹回移民—

南樹



……三……

は師範を出てから教育家として終始し人

〇（城間）〇

望があつた。日清戰爭當時には沖縄縣の民論が二派に別れて暗闘した、眞偽の程は知らないが、何んでも清國の軍艦が那覇港に這入ると同時に縣知事を始め内地人皆殺しの計劃があつたので、是れに備えて日本黨は大いに警戒したと云ふことであるが、城間は其の内の錚々たる一人で、日本黨として活躍したと云ふことである、沖縄西郷と云ふ別名があることから察しても彼は如何に郷黨に重きをなして居たかを知るべきである

〇（かう）〇

云ふ譯で城間の話に依れば彼は移民募集人であり、鮫島の説得に依つてはどうすることも出來なかつた移民募集を成功せしむるに至つたのは全く彼の力に負ふ所であつた。従つて彼の渡伯は一移民としてにあらず、月給一百円を貰ふ移民會社員であつたと云ふ。鮫島はこれを那覇に於て保證し、水野は神戸に於て堅く口約しながら遂に實行するに至らなかつたものであると城間はこぼして居る。與奈嶺甚五郎などの話にも、

「城間は 移民募集人 であつた」

と云つて居る所から推しても万更の虚偽でないことが解る。

〇（兎に）〇

かく鮫島としてはハワイ移民で失敗し、那覇の築港でうまく行かなかつたのを、ブラジル移民で埋め合せたと云ふのであるから何でも口から出任せに吹聴し約束をしたものらしい。與那嶺甚五郎の話に依ると那覇を出發した船が先づ最初に鹿兒島に着き、そこで船を乗り換えたが折しも櫻島の噴煙がたそがれの空に夢の様な美くしさを見せて居る時であつた。鮫島は大きな聲で、

「皆移民會社の受取りを返せ返さぬものは船に乗れんぞ」

と奴鳴り立てた。それを信じて彼の手に受取書を渡したもの—與那嶺なども其の一人であるが、受取證がないと云ふ理由で訴訟を起され、旅費の二重取をされたと云ふ。

〇（これ）〇

は表面移民會社が二重取をしたと云ふことになるが、裏面を探ぐれば最初の分は鮫島の手に這入つたもので皇國植民會社の落度であり、大きな手抜かりであつたに相違ないが、どさくさ騒ぎにうまい汁を吸つたのは鮫島一人である。皇國植民會社としては訴訟迄起して受取るには受取つたと云ふものゝいゝ迷惑であつたと云ふべきである。

トン〱トンカラリは古くさい

隣組の歌にも新體制

〝トントン、トンカラリ〟のあの歌は隣組の孵化時代にはあれでもよかつただらうがさう何時までも〝トンカラリ〟じやと北九州文化聯盟の御大火野葦平氏が麾下の詩人連を總動員して「新興隣組」の歌を作つたが、直ちに作曲して円盤に吹込み、全國に普及さすんだと凄い張切りやう、歌詞はつぎの通り

一、國の榮は民の幸
明るく生きる喜びを
戸毎に分つ朝あけに
仰ぐ日の丸旭は昇る
みんな手を組め隣組

二、向ふ三軒兩どなり
心も通ふ肌もかよふ
守る職場のまごゝろに
情うれしい花が咲く
みんな手を組め隣組

三、家に親しい灯のあかり
胸をひらいて車座に
微笑み交す顔と顔
語るは一つ國のこと
みんな手を組め隣組

棉の相場

サンパウロ棉花取引所建値

六月二十四日

單位 十五キロ

	買値	賣値
四級	四七、〇〇〇	四八、〇〇〇
五級	四一、五〇〇	四二、五〇〇
六級	三八、五〇〇	三九、五〇〇

重要商品市況

六月廿四日

		買値	賣値
◆バタタ	六〇キロ		
アマレーラエスペシアール		[illegible]	[illegible]
スペリオール		[illegible]	[illegible]
◆小麥粉一級		[illegible]	[illegible]
ファリンエヤ			
マンヂオカ	五〇キロ	[illegible]	[illegible]
砂糖	六〇キロ入		
極上		七一、	七二
上等		六八、	六九
アルファファ	一キロ	[illegible]	[illegible]
◆フエジョン	六〇キロ		
△新ムラチンニヨ			
スペリオール		[illegible]	[illegible]
エスペシヤル		[illegible]	[illegible]
ボン		ノミナル	
△コーレス	六〇キロ		
レグラール		ノミナル	
シユンビンニヨ		[illegible]	[illegible]
△ミリヨ	六〇キロ		
アマレリニヨ		三一、五	三一、六
アマレロ		二〇、五	二〇、六
アマレロン		二〇、五	二〇、六
△アロースアグリア			
アマレロン			
エスペシアール		[illegible]	[illegible]
スペリオール		[illegible]	[illegible]
ボン		ノミナル	
レグラール		ノミナル	
△ブランコ			
エスペシアール		[illegible]	[illegible]
スペリオール		[illegible]	[illegible]
ボン		[illegible]	[illegible]
レグラール		[illegible]	[illegible]
△キレーラ		[illegible]	[illegible]
△メイオ		[illegible]	[illegible]
△カテテ			
エスペシアール		[illegible]	[illegible]
スペリオール		[illegible]	[illegible]
ボン		ノミナル	
豚（オザスコ相場）			
ゴールド		ノミナル	
マーグロ		ノミナル	
マモナ	一キロ	[illegible]	[illegible]
セボーラ・リオ・グランデ		ノミナル	
バンエヤ	二〇キロ	[illegible]	[illegible]

綿布相場【東京廿四日同盟】綿布前引け

六二四、六五七
六九八、七一七、七三五、七
四五、七五八五

胃腸にエビオス

東山銀行
本店 サンパウロ
・支店・サントス・リンス・マリリア・プルデンテ
聖市・フロレンシオ・デ・アブレウ街三八番 電話三－一一一一番

BOLSA DE ESTABILISAÇÃO S/A
本社 RUA JOSE' BONIFACIO, 233番 - 3階 郵函 4126 電話 2-2283 S. PAULO

ボルサ貯蓄會社
一九四一年六月分抽籤發表

六月十一日付當籤番號	六月廿五日付當籤番號	賞金
三二三六九	五四七八〇	各廿コントス〇〇〇釺
三二三六八	五四七七九	各一コント五〇〇釺
三二三七〇	五四七八一	各一コント五〇〇釺
二三六九	四七八〇	各一コント〇〇〇釺
二三六八	四七七九	各二五〇釺
二三七〇	四七八一	各二五〇釺
三六九	七八〇	各二〇〇釺
六九	八〇	各一〇〇釺
九六	〇八	各一〇釺

フエデラル抽籤發表 六月二十五日付

一八七〇九	二五、〇〇〇釺
二八七〇九	一〇、〇〇〇釺
三八七〇九	五、〇〇〇釺
四八七〇九	三、〇〇〇釺
五八七〇九	二、〇〇〇釺
八七〇九	一、〇〇〇釺
七〇九	一〇〇釺
〇九	一〇釺
九	五釺

七月付抽籤日
ウニオン組（十釺掛） 七月九日、廿三日
フエデラル組（五釺掛） 七月二十五日

條件
(1) 月掛十釺滿期十年
(1) 利子年八分五厘
(1) 抽籤月二回（第二・第四水曜日）

手頃のシチオ
格安で賣たし
場所 ジユキア線ペエドロ・デ・トレード驛
面積 拾五アルケーレス、水利の便極めて良好、マンジヨカ貳万五千株餘。バナナ貳千株餘、ラランジヤを始め多種の果樹あり
建物 家二棟。パイヨラ四棟産卵中の鷄百五十餘。豚。馬等を有し養豚及び米作に最適地。右至急賣たし。お望の方は御來談又は書留郵便にて願ひます。
南聖植民地 中川
H. Nakagawa
Est. Pedro de Toledo
Linha Santos-Juquia

NOBIS
ブラジルで最優良のガジミーラはマルカ「ノービス」です
染色絶對保證、優美な新柄模樣、値段廉價
御出聖の際は是非當店に御立寄下さい
製造販賣元ラニフイシイオ サンタ・ローザ
聖市ベンヂヤミン・コンスタンテ街四八番 電話三－六三四一
R. Benjamim Constant, 48
Fone. 3-6341 - São Paulo

聯邦農務省御用・聖州農務省御用
果樹苗
セントラル線モヂ驛 郵函三二四
本多果樹園

Redação — Rua Fagundes, 19[illegible]
Telefone 7-4670
Caixa Postal, H

NOTICIAS O BRASIL

Diretór MASAHI SAMESIMA

Assinatura Ano .... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero de dia .... 300 reis

ANO XXIV — S. PAULO — QUINTA FEIRA 26 de JUNHO de 1941 — DIARIO No 2512

O governo procurará solucionar os problemas de interesse dos pescadores

Estiveram no dia 24, no Palacio do Governo alguns membros da diretoria da Federação dos Pescadores de S. Paulo os quais, confiantes nos propositos manifestados pelo interventor federal,foram apelar para a sua boa vontade no sentido de se dar solução a diversas questões que hoje afligem os pescadores deste Estado.

Encontraram os visitantes — que eram os srs. capitão de mar e guerra Esculapio Cesar de Paiva. dr. J. Fernandes de Pontes, Julio Vitale e dr. Rosario Conte — o mais vivo interesse do dr. Fernando Costa em estudar os problemas que lhe foram apresentados.

Manifestaram eles a s. exa. a urgência premente de se crearem novos entrepostos de pesca, pois o existente em cananéia não esta em condições de atender às necessidades presentes. Expuseram a conveniência da construção de novos entrepostos em Santos. S. Paulo e outras zonas, constituindo-se assim uma rede de estabelecimentos desse gênero, capaz não só de garantir a perfeita conservação do pescado, como de atender ás necessidades do consumo dos grandes centros de população.

Presentemente, com a deficiência existente, sofrem os pescadores e os consumidores; aqueles, com as pedras enormes de produtos deteriorados, e estes com a raridade e o incarecimento do produto, aliados á sua má qualidade.

A creação de uma rede bem localizada de entrepostos, alem de consituir, por si só, um notavel beneficio aos que garantem sua subsistencia com as atividades da pesca a população, que poderá recorrer com mais frequência, para cardápios saudaveis e nutritivos, aos produtos da pesca. Com essa providencia o preço do peixe tenderá a baixar consideravelmente, melhorando-se por sua vez a qualidade do pescado.

Não constituirá, pois, novidade a noticia que ora divulgamos de que o sr. interventor federal demonstrou vivo interesse pelo assunto, porque na verdade s. excia já vinha cogitando dele. Pode-se afirmar, portanto, que dentro em breve o governo do Estado atacará esse importante problema, de tanto interesse para a alimentação pública.

Durante a conversa que mantiveram com o sr. interventor federal, os representantes da Federação dos Pescadores solicitaram tambem os bons oficios do dr. Fernando Costa, afim de que o Instituto dos Maritimos facilitasse aos pescadores paulistas o recolhimento das contribuições a que estão sujeitos. O Instituto dos Maritimos —, conforme acentuaram os visitantes — exige o pagamento dessas contribuições a partir do ano de 1933, e os pescadores de S. Paulo pleiteiam que esse pagamento seja feito apenas a partir do ano em curso. O sr. interventor federal prometeu tambem considerar a questão, para pleitear junto ao Ministerio Trabalho o que for de justiça.

Foi lembrado, ainda, durante a visita, o aproveitamento de um frigorifico já existente em Santos, o qual está em condições de ser posto imediatamente à disposição dos pescadores. Esse foi um assunto que mereceu toda atenção do sr. interventor federal, que já providenciou o seu entudo, para a mais rápida solução possivel.

Mereceu, ainda, toda a simpatia de s. exa. a exposição feita pelos representantes da Federação dos Pescadores sobre a forma precária por que se vem processando a assistência médica de que necessitam os pescadores. Essa assistência vem sendo feita ás expensas unicamente da Colónia Z-1. de Santos, que está atendendo na médida do possivel, mas com evidentes deficiências, ás necessidades de todos os pescadores do Estado do S. Paulo. Para esse serviço a Colónia Z-1 não dispõe do verba especial, utilizando-se apenas de pequenas quotas facultativas pagas pelos pescadores, mas absolutamente insuficientes para tão grande atividade.

O dr. Fernado Costa prometeu, tambem, estudar uma forma de auxilio destinado a melhorar tão importante e humanitária serviço.

Os representantes da Federação dos Pescadores do S. Paulo, que sairam magnificamente impressionados com a simpatia que encontram por parte do sr. interventor federal, ficaram de procurar novamente s. exa. para tratar dos interesses dos pescadores deste Estado.

ESCOLA PAULISTA DE MEDICINAS

Almoço de confraternização

Atendendo a inúmeros pedidos, a Associação dos Ex-Alunos da Escola Paulista de Medicina resolveu transferir para o mês de julho próximo futuro a realização do grande almoço comemorativo de mais um aniversario da fundação da Escola Paulista de Medicina.

Para esse almoço, do qual participarão professores, assistentes, ex-alunos e amigos da E. P. M., as adesões continuam a ser recebidas pelos seguintes telefones: 7-5910, Escola Paulista de Medicina; 4-7357, sr. Wlamir Gomes Ferraz; 8-1958, dr. Mendes de Castro; 2-8289, dr. Decio F. Silveira; e 7-7194 dr. Gabriel Amato.

O IODO AUMENTA A PRODUÇÃO E MELHORA A QUALIDADE DOS OVOS

Muito se tem descutido nos ultimos tempos, sôbre o valor do iodo na alimentação das galinhas, demonstrando as mais recentes experiencias a sua incontestavel influencia quando adicionado á ração.

Experiencias feitas no, Quarto Congresso Mundial de Avicultura, em 1939, mostram que o Iodo tem uma influencia beneficio sôbre a produção do ovos e possivelmente sôbre o seu peso.

Pesquizadores alemães, verificaram que um aumento de cerca 4% no numero de ovos tinha sido conseguido juntando-se á ração, diariamente iodureto de potássio.

Igualmente, a porcentagem de ovos férias incubados, aumentou entre 88 e 92%, em comparação com 76 e 84%, de ovos incubados, de galinhas que não receberam iodo.

Ovos de galinhas alimentadas com iodo, contém aproximadamente cem vezes, mais iodo do que as demais. A maior parte de iodo concentra-se, na gema, menos quantidade na clara e poucos traços na casca.

Experiencias realizadas nos Estados Unidos, mostram, que ovos de galinhas as quais receberam ioduresto de potássio, tinham somente 24.08 % de claras aquosas.

Tais resultados são muitos significativo, principalmente agora, que se dedica maior interesse, pela qualidade dos ovos e os avicultores esforçam-se para conseguirem ovos, com a minima porcentagem de claras aquosas. Os ovos de claras aquosas, são desclassificados para a «exportação», portanto é interesse dos avicultores, alimenta as aves, de modo, que a porcentagem de claras aquosas seja a minima possivel, obtendo assim ótima classificação e aceitação nos mercados estrangeiros e nacionais.

Exposição agro-pecuaria de Mato-Grosso

RIO, — O Interventor Federal em Mato Grosso telegrafou ao Ministro da Agricultura comunicando que, em Campo Grande, se está realizando a 3ª Exposição Agro-Pecuaria do Estado. Segundo o telegrama do sr. Julio Muller, aquele certame tem demonstrado amplamente o desenvolvimento da pecuaria e da agricultura matogrossenses.

A construção do Estado da Cidade de Salvador

SALVADOR, — Estando aberta, agora, a concorrencia para a construção do Estadio da cidade, espera-se que as firmas que apresentaram os projetos da monumental obra concorram para a sua edificação, que será custeada pelo governo do Estado.

Uma das firmas apresentou o projeto de um estadio com capacidade para 30 000 pessoas, dotado com campos de esportes, com ginasio para 2.200 pessoas, 4 salões de festas, quadras de tenis cobertas para jogos noturnos, quadras de tenis para jogos oficiais, quadra de voleibol, piscina de dimenções olimpicas, pistas de atletismo, campo de futebol e demais instalações indispensaveis à moderna praça de esportes.

Uma outra firma tambem apresentou um projeto que reduziu a capacidade do Estadio para 23.000 pessoas, refletindo a diminuição da capacidade na diminuição do custo das obras. A localização do Estadio, conforme já foi divulgado, será no bairro do Dique, que para isso sofrerá modificações urbanisticas.

Estudos geologicos em Mato-Grosso

RIO, — O diretor da Divisão de Geologia e Mineralogia do Ministerio da Agricultura designou o engenheiro de minas Alberto Ildefonso Erichsen, chefe da Secção de Geologia, para proceder a estudos dessa natureza nas nascentes do rio Curumbira, em Mato Grosso. Designou tambem o naturalista Elias Dolianiti para auxiliar os estudos paleontologicos e geologicos a serem realizados, brevemente, no aludido Estado.

Com a comitiva segue o sr. Pedro Lima, representante do Serviço de Informação Agricola, afim de fotografar e filmar a região das pesquisas, bem como os trabalhos iniciais.

DEFENDENDO OS MANDIOCAIS

RIO, — A «bacteriose» está causando sérios prejuizos aos mandiocais de varios Estados. Para orientar a campanha contra e Espirito Santo, a Divisão de Defesa Sanitaria Vegetal do Ministerio da Agricultura designou ha tempos o agronomo José Soares Brandão Filho, especialista no assunto. Esse técnico acaba de regressar de uma viagem de inspeção realizada em Minas Gerais, onde, por intermedio da imprensa e de demonstrações praticas, esclareceu as causas e o modo de combater esse flagelo, que já destruiu mais de 30 por cento de mandioca na zona mineira da Mata e no oeste do Estado.

Cooperando com a referida Divisão o Serviço de Infomação Agricola está distribuindo a todos os prefeitos das zonas infestadas exemplares do trabalho do técnico Brandão Filho, intitulado «Meios de controle da bacteriose da mandioca», solicitando das autoridades a maior divulgação das medidas recomendadas.

O referido agronomo seguirá, por estes dias, para os Estados do Rio e Espirito Santo.

Venda de ações da Cia. Siderurgica Nacional

RIO, — A venda de ações da Companhia Siderurgica Nacional continú a despertar em todo o pais grande interesse. Pelas comunicações recebida até agora, na séde da Companhia, o valor das ações colocadas em mãos de particulares, empresas e as obrigações ultrapassa a setenta mil contos, sendo de esperar que até o fim do corrente mês ao se encerrar a venda da ações, essa cifra esteja bem mais elevada.

Este resultado excede às melhores expectativas e é animados verificar-se que em menos de 3 mezes conseguiu-se levantar entre particulares, para um empreendimento industrial, mais de setenta mil contos de réis.

Merece registo destacado a circunstancia de se ter conseguido interessa numa industria nacional tão elevado numero de prestamistas, pois a Companhia Siderurgica Nacional já conta mais de 15 mil acionistas, numero esse que excede muito o de qualquer companhia organizada no Brasil.

Felicitações do ministro Gaspar Dutra ao prof. Waldemar Falcão

RIO, — Do general Eurico Gaspar Dutra, Ministro da Guerra, recebeu o ex-Ministro do Trabalho sr. Valdemar Falcão, a seguinte carta:

«Prezado amigo Ministro Vldemar Falcão. Cordiais cumprimentos. Com especial agrado li vossa ultima carta em que era a fidalguia costumeira, no proprio dia em que vos investieis nas nobres funções de ministro do Supremo Tribunal, quizestes vos despedir do Exercito em cujo magisterio vos distinguistes, não só pela cultura, como pela exação funcional.

Sentimos pezarosos o vosso afastamento de nosso meio. Conformamonos, entretanto, com o fato, verificando que ascendeis, por meritos proprios às culminancias de ministro do Supremo Tribunal Federal, estancia mais alta da Justiça brasileira, e onde havereis de melhor evidenciar as nobres qualidades de vosso carater e de vosso saber.

Em meu nome e no do Exercito brasileiro, endereço-vos as felicitações e os votos fraternos do mais pleno êxito em vossa nova judicatura. — (a) Eurico Dutra».

Presos no Estado do Rio varios devastadores de florestas

RIO, — Em virtude de estarem efetuando a derrubada de matas numa extensão de 40 alqueires. nas imediações de Rio Bonito, foram presos pelo policia fluminense, 16 individuos. Esses, que eram chefiados por Ranulfo de Souza, Mario de Oliveira e Oscar Cereira, não tinham licença para a derrubada, infringindo, assim, o Codigo Florestal.

Os tres chefes foram multados em 1:000$000 cada um, sem prejuizo das demais penas criminais a que estejam sujeitos.

Movimentação dos cinemas no Japão

Em virtude das medidas proibitiva de instalação de novos estabelecimentos de projeção cinematográfica em todo o territorio nacional japonês. medidas essas ditadas para a economia de recursos materiais, o total dos referidos estabelecimentos que, no fim do ano de 1939, era de 2.018, embora não tenha aumentado durante o último ano, apresentou uma frequência áquele ano de 419.787.728, parecendo ter crescido de 10% no ano passado.

Ha no Japão 18 grandes estudios os quais trabalham cerca de 5.000 pessoas, incluindo atores e atrizes. Esses estabelecimentos são responsáveis pela maior parte da produção total. Quatro companhias: Shochiku, Nippon Katsudo (mais conhecida como Nikkatsu), Toho e Shinko-Eiga, cada qual produzindo de 80 a 100 peliculas por ano, formam a base da moderna industria cinematográfica japonesa. Dos filmes produzidos anualmente no Japão, a maior parte é constituida de filmes falados, sendo os demais explanatórios, havendo alguns silenciosos e pouquíssimos musicais.

Recentemente, algumas companhias japonesas estão fazendo filmes chamados de «amizade», em cooperação com o Mandchukuo.

A capital imperial — Tokyo — possue um total de 303 cinemas. Como exemplo do movimento de frequência a esses estabelecimentos de diversão diremos que, no ano de 1939, verificou-se um geral de 91.648.012 frequências, total esse que no ano findo foi aumentado de modo consideravel conseguindo atingir a 101.768.711. Isso quer dizer que os moradores da metropole de Tokyo vão ao cinema 16 vezes por ano e que cada um dos cinemas da capital recebe, em media mais de 335.000 espetadores anualmente.

Por aí se vê que, naquela cidade nada menos de 300.000 cidadãos frequentam diariamente o cinema, e que cada um deles recebe cerca de 1.000 frequentadores, de maneira que são muito naturais e perfeitamente explicaveis os aglomerados humanos que se observam nos cinemas aos domingos e feriados.

Apesar da grande quantidade de filmes que se produzem anualmente, raras são as peliculas japonesas que logram chegar até as plateias ocidentais em virtude, talvez, da pouca importancia que se concede, no Japão, à exportação das produções cinematográficas.

Alcool motor de mandioca

RIO — O agronomo Magarinos Torres, que responde pelo expediente do Departamento Nacional da Produção Vegetal, apresentou ao ministro interino da Agricultura amostras de alcool motor de mandioca, produzido pela Usina de Divinopolis, de propriedade do governo de Minas Gerais e informou que. em 1940, essa produção se elevara a 401 000 litros, vendidos à razão de 1$ o litro. Foram empregados, nesse periodo, 3 milhões de quilos de mandioca para fabricação de alcool. Os municipios de Divinopolis, Pará de Minas Santo Antonio do Monte e Itapecerica forneceram a materia prima. A usina em apreço espera fabricar neste ano cerca de 800 mil litros de alcool de mandioca. Em 1940, foi feito o gasto diario de 1.600 kilos de milho e ... 20 000 de mandioca, esta paga á razão de $060 o quilo.

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

農業

農經

牛と珈琲の話

舊地帶の大轉換

地方小都市は大恐慌

三角ミナス方面は海拔と地味の關係に支配され、河を一つ隔てた南隣聖州特産珈琲を植ることが出來ず、止むを得ず牧畜に專念して來たものである、然も氣候條件が惡いため止む無く印度牛を根據に五十年、專門家からは野獸だと、絶えざる惡聲を被り乍らも不斷の改良を續けた結果は近年に至り俄かに其の光を放ち、歐洲種の伯國馴化失敗は更にその光輝を加へ、最近は素晴らしい好景氣へと躍進してゐることは累次報告の通りである

此に關連し昨今俄に優良カフェー地帶に大問題が起つてゐる……話の筋は次の通り

永年の不況に惱む珈琲園連は多大の資本と澤山人手を使ひ年中苦勞して珈琲を作つて見ても缺損續きで腐り切つてゐるのにも拘らずつい目と鼻の先のミナスの種牛屋は、珈琲園に比べて話にならない程小人數で牛の世話をし、然も珈琲園では眞似の出來ない大儲けを續けてゐる、百姓仕事と雖も道樂者ばかりではない他人の花は特別赤く見える諺もある位、近年急にモチアナ奧地では牧牛熱が擡頭して來て古カフェー園は急にパストに變貌しつゝある

此處までは無難であるが、同地方小都會に住む商人連は大恐慌で從來は都會から仕入れた品物を高く賣附け、農産物は出來るだけ安く買ひ込み二重の搾取を續けてゐたところが、右の大勢で人口の大減少を招來し俄に秋風が身にコタへだしたといふわけである、馬鹿にしてゐた珈琲が多數の人口を養つてゐたことを今になつて體驗した罰當り話

——

生卵の貯藏半歳

それでも變質せぬ法

北米では卵の貯藏法として次のような科學的方法を採用してゐる

第一に新鮮な卵を紫外線の強力なものを以て殺菌し外殼には一つも生きた細菌をも無くした上液狀パラフィンに漬け空氣と絶緣、最後に炭酸ガスが充滿した室に納め、溫度を五度から十度以內に保つ、といつた何から何まで徹底した手段を加へてやつてゐる、右の手段と面倒を行ふと約半年經過後に於ても何等その外觀では變質を認めないといふ

レンチリア〔扁豆〕

日本人が知らぬ作物

冬季休閑地の利用に適す

冬作物の一つとして日本人が識らない作物にレンチリア〈扁豆〉と稱するものがある、歐洲各地では非常に古くから食料及家畜飼料として廣く栽培に利用されて來た、主要農物である、從つて歐洲系移民の手で南米へ持ち込まれ現在では最も普通に利用する豆になつてゐる、日本に居た時ならばいざ知らず南米に移住した我等が伯人常用農作物を全然知らぬとあつては農業日本人の名譽に關するから、左にレンチリアの特性を發表し愛讀者諸氏の參考に供したい

レンチリアは先にも觸れた通り一種の豆であつて、草丈は三、四十糎程度羽狀偶數を具へ十對乃至十四對の小葉より成り葉の尖端は卷毛となつて他物に絡みつく、大體が日本のすゝめのえんどうに類した草姿だと想像すれば間違ないところ

花は白色、豆は扁豆とある通りえんどう程の周圍ある扁平な品が普通であるが、品種は多數あり中には大粒種もある

にはある

ドイツ人はソッパに珍重し伯人はフェジョアーダを作る、甘煮にすると又上等な御馳走ともなり、家畜万般には最上等の蛋白質飼料でもある

適地は砂混りの粘質土が良く余り乾燥の激しい土地又は地下水が表面近い場所は不適當で、凡ての條件はえんどうに準じて判斷すれば大過は無い

聖州の冬期は此豆には最好適な氣候であつて、少々の霜には不感性で、休閑地利用上見遁せぬ作物の一つである

一町歩所要種子は八十キロ内外、短期作物の一つ、收穫はフェジョン同樣充實し向莢を開かない内に採集し是非パンの上で調整する必要が

收量は樣々であ

歩千五百キロ程

りずつと貨幣價値も高

蛋白比は二、六その藁は

七であつてアルファアルファに比し決して劣らない、從つて青刈用として密植し、冬季草の最も缺乏する時利用しても充分有意義である

ケニヤ小麥

銹病は免疫

麥類の大敵さび病は世界各地の小麥産地の頭痛の種となつてゐる、從つて此の寄生菌に抵抗力ある品種の作出は育種界に最大問題となり各國競爭の形で研究を續けてゐる、現在聖州で作つてゐるブザ種も此の點優良品種であるが、アフリカ、ケニヤ産の品種中には殆ど完全に免疫性の品種が發見され、早くも聖州試驗場で試作されてゐる、原産地の氣候條件も聖州類似してゐることではありその將來性には多大の期待が掛けられてゐる

冬の果樹手入れ

油斷をすると大變

あぶら虫の類驅除法

果物の冬手入は樣々ある中に六月末から七月中に是非共斷行しなくてはならない一つの作業「あぶらむし退治」がある、寒さのため木がいぢけてゐるのを良いことにして怠けてゐると八月の春暖と共に俄に大增殖を行ひ切角の新芽は全部喰ひ荒され、切角ついた花も蕾も全部失ふ慘害を被ることが多い、特に新芽の先に蕾を持つ果樹類に殊更被害が多い之が例として柑橘類、マンガ等最も被害が甚しい

あぶら蟲にも何十種類といふ種類があつて、形狀の大小色も樣々あるが春先柑橘類を襲擊する黑あぶら蟲は其の被害が最も痛烈で業者が均しく恐れをなすものである

發生後の驅除よりは豫防が大切で今丁度其の最適季に入つてゐる、之がため次の如き簡單な驅除液を作り、果樹類は何によらず樹冠へ部に撒布すべきである

石鹸	三瓩
タバコエキス	一立
水	一〇〇立

水の代りにボルドウ液を用ひると石鹸を倹約出來て更に殺菌の意味を加つて有効である

一方間接に蟻の驅除も實行する、木の根を害する心配無い所ならば熱湯を、心配ある場所には濃厚なクレオリーナ液又はフォルミシーダ（二硫化炭素）を加用すべきである